

クイックスタートガイド

LV-7375 LV-7370 LV-7275 LV-8300

- このクイックスタートガイドでは、プロジェクター（本機）の基本的な操作方法をコンピュータとの接続を例にして説明しています。詳しい説明は、User's Manual CD-ROM 内の「使用説明書」をご参照ください。
- 本機を使用する前に、「Important Information（重要なお知らせ）」の冒頭に記載している“安全上の注意事項”を必ずお読みください。

※ LV-7375/LV-7370/LV-7275/LV-8300 は、日本国内向けモデルです。

※ 本書のイラストは LV-7375 のモデルを掲載しています。

ステップ1 設置する

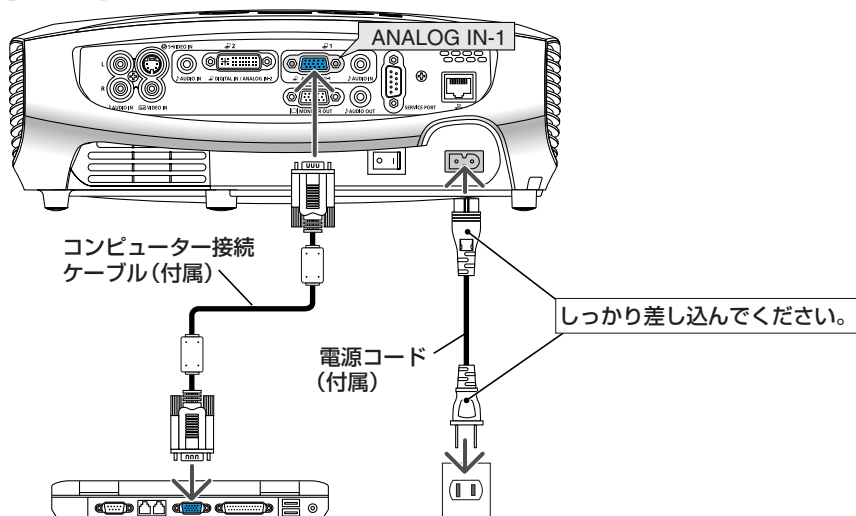
お好みの画面サイズになるように、本機を置く位置を決めます。

- 🕒 使用説明書 ・ LV-7375/LV-7370/LV-7275 の場合： 23 ページ
- ・ LV-8300 の場合： 24 ページ

ステップ2 接続する

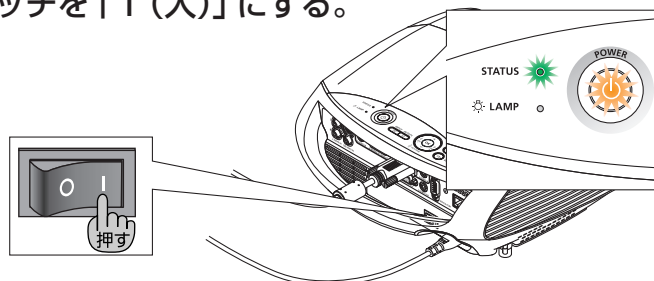
- 1 コンピューター接続ケーブルを接続する。
- 2 電源コードを接続する。

【接続例】

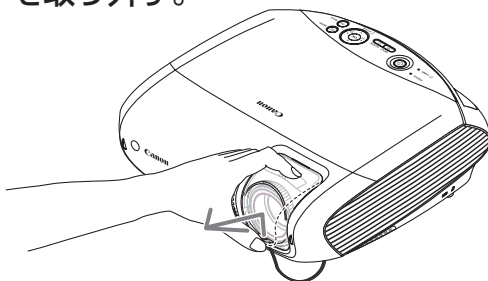


ステップ3 電源を入れる

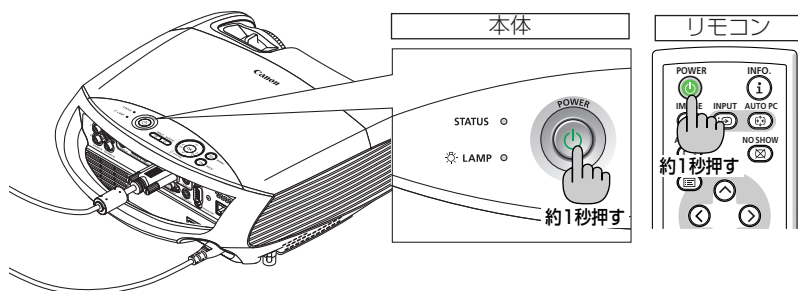
1 主電源スイッチを「I (入)」にする。



2 レンズからレンズカバーを取り外す。



3 **POWER** ボタンを約 1 秒押す。



参考

ご購入後はじめて電源を入れたときは「Language (言語選択)」画面が表示されます。〈V〉〈A〉〈L〉〈R〉ボタンで言語を選び、〈OK〉ボタンで決定してください。

Language		
English	Dansk	Norsk
Deutsch	Português	Türkçe
Français	Čeština	Русский
Italiano	Magyar	عربي
Español	Polski	Ελληνικά
Svenska	Nederlands	中文
日本語	Suomi	한국어

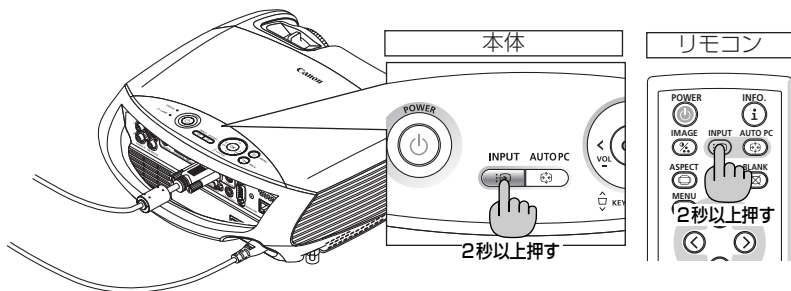
OK: OK

ステップ4 信号を選ぶ

本機に接続しているコンピューターの電源を入れ、

INPUT ボタンを 2 秒以上押す。

数秒後にコンピューターの画面を投写します。



参考

●ノート型コンピューターの画面がうまく投写できない場合

ノート型コンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り換えてください。

・ Windows の場合はファンクションキーを使います。

Fn キーを押したまま (L/R) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り換わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。

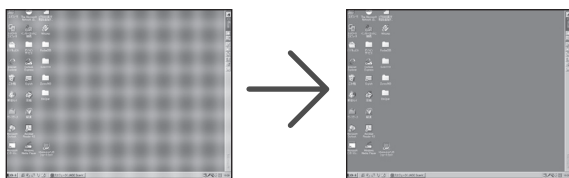
【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn + F4	HP
Fn + F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn + F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn + F8	DELL、EPSON
Fn + F10	FUJITSU

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの使用説明書をご参照ください。

●画面の端が切れている場合

コンピューターの画面を投写したときに、画面の端が切れていたり、映りが悪いときは、**(AUTO PC)** ボタンを押して自動調整を行ってください。



【映りが悪い画面例】

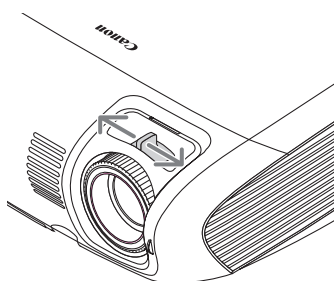
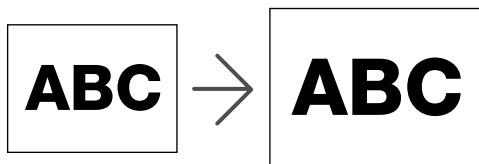
【自動調整後の画面例】

ステップ5 投写画面の位置と大きさを調整する

ズームレバー、フォーカスリング、調整脚などを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

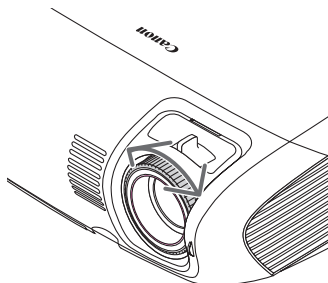
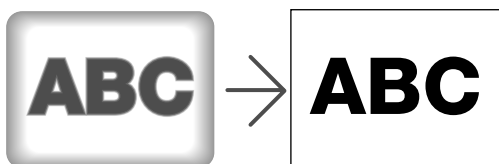
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】

ズームレバーを動かして、投写画面の大きさを調整する。



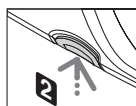
投写画面のピント調整【フォーカスリング】

フォーカスリングを回して、ピントを調整する。

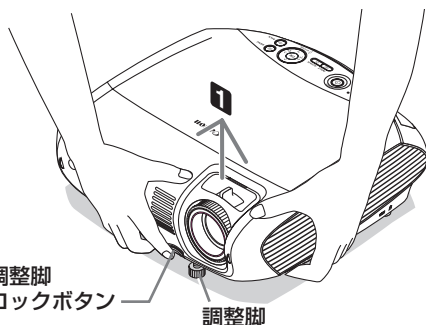


投写角度(投写画面の高低)の調整【調整脚】

- 1 本機の前部を持ち上げる。
- 2 調整脚ロックボタンを真上に押し上げる。



調整脚
ロックボタン

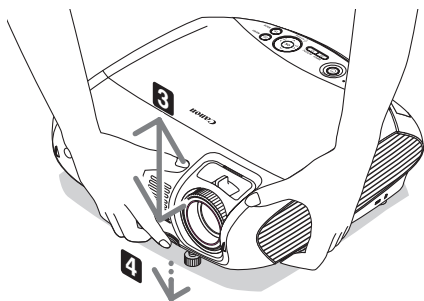


調整脚

⚠ 排気口の熱風にはご注意ください。

3 調整脚ロックボタンを押し上げたまま、本機の投写角度を調整する。

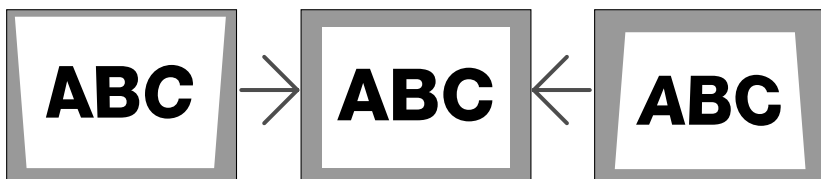
4 角度を固定したいところで調整脚ロックボタンから指を離す。



台形ひずみ補正【オートキーストーン】

投写画面が台形にひずんでいないことを確認する。

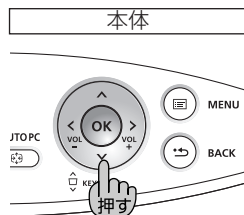
本機は、本体の上下の傾きを感知し、画面のひずみを自動で補正します。



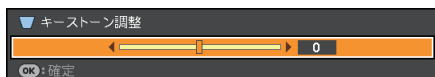
画面の左右（水平方向）がひずんでいるときは、レンズ面がスクリーンに平行になるように設置をお願いします。

台形ひずみ補正【キーストーン調整】

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の \checkmark/\wedge ボタンを押す。
調整バーが表示されます。

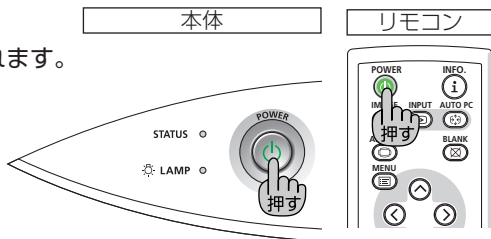


2 \checkmark/\wedge ボタンを押して、台形ひずみを調整する。



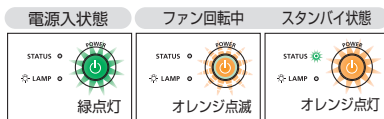
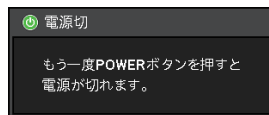
ステップ6 電源を切る

- 1** **POWER** ボタンを押す。
電源切確認メッセージが表示されます。



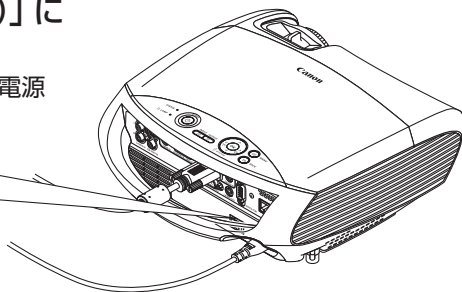
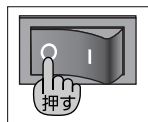
- 2** もう一度 **POWER** ボタンを押す。

ランプが消灯し、しばらく冷却ファンが回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れ POWER ランプがオレンジ色に変わります(スタンバイ状態)。



- 3** 主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機の POWER ランプが消え、主電源が切れます。



- 4** 電源コードを外す。